



# 奈良・人と自然の会

〈わたしたちは大和の自然を愛します〉



## 新年を迎えて

会長 川井 秀夫

明けましておめでとう御座います。

会員各位にも、清々しい新年を迎えられた事と、心からお慶び申し上げます。

当会も五回目のお正月を迎え、曲折を経ながらも、活動路線の定着、社会的な活動にも拡がりを見せ、また一步前進した様に思います。

ただ課題も多く、『辿り来て未だ山麓』の感は拭えませんが、「マンパワーの不足」「助成金の取得」「行政・教育機関・公益団体との連携推進」と、加えて会員のニーズを如何に運営面に反映するか、新しい方向の模索を続けて行きたいと存じます。

今回、会のキャッチフレーズを採択致しました。幾つかの候補の中から、子供さんにも解かりやすい「わたしたちは、大和の自然を愛します」が選ばれました。

奇しくも昨年を象徴する一字漢字が『愛』となりましたが、人への愛、万物への愛、人と自然との共生を確かな理念として頑張っまいるたいと考えております。

今年はまたシニア自然大学修了の方々が、今春には新会員として当会へ入会の期待が高まります。フレッシュな世代の新しい風が活性化の源として、より豊かな体質が育つ事も大きな楽しみとなってまいります。

時代は動きます。自然保護・環境保全と言っても、社会ではまだまだマイナーの域をでませんが、森林・農業の分野では漸く国土政策の動きが見え始め、環境問題においてもアスベスト、鳥ウイルス、外来種による生態系の攪乱に法規制が強化されるなど、国際問題を含め喧しくなっまいました。

我々も小さな力ではありますが、急がず、弛まず、そして楽しく、無理をせず、成年に因み、四本の手足をしっかりと踏ん張って行こうではありませんか。

会員各位、スタッフの方々、今年もよろしくご支援の程、WITH YOU IN NARAを合言葉にして、公私共に「前え、の精神を持ち続けたいと思います。



## 12月度例会 平城宮跡野鳥観察会

小森清道

12月12日、この時期には珍しい裏日本の大雪で風の冷たさが身に染む天気にもかかわらず鳥好きの会員約20名が西大寺駅に集合。早速リーダーの小田さんからこの季節に水辺でよく見られる野鳥29種が網羅されたカラープリントを全員頂戴する。強い風のせい水上池までの開けた畑地に小鳥の姿はキジバト、ツグミ等ちらほら程度。しかし今日のメインである水上池では期待通り多くの水鳥達が我々の目を楽しませてくれた。観察ポイントに近いところではマガモ・カルガモ・カワウなど、その先にはコガモ・ハシビロ・ホシハジロ・キンクロハジロなど等がそれぞれ群れを成して遊泳しており、更にカイツブリ・オオバンも仲間入り。

この時季、水鳥の多くは繁殖相手を見つける「恋の季節」で雄はそれぞれ特徴ある美しい繁殖羽で着飾り雌の気を引こうとする。既に相手を見つけ他の雄に奪われぬようガードを固めているものや、雄同士群れながら機をうかがっているもの等水上ののんびりした様子からは窺い知れない厳しい時季だと聞く。

それを知って眺めればキンクロやハシビロの目付きのキラキラしたこと・・・。

驚いたのは白鳥が一羽「白一点？」で悠々と回遊しており、居心地の良さと北へ帰るのを忘れたか？と思わせたが、実はこれはコブハクチョウでその大型で優美な姿ゆえに餌付されて公園などで飼われる事が多い由。

今日のハイライトは堀の向こう岸で見られたカワセミのワンマンショー。先ず木陰から出たり入ったり気を揉ませてから“見て、見て!”と全身を陽光にかざすこと数分、その後我々の期待を一身に背負って見事な水中ダイビング、一旦水中杭に身を留めた後に木陰へ消えた。嘴にキラリッ!と光るものを見た気もしたが、否何も無かったとの言もあり狩猟が成功か失敗かの真相も藪の中に消えた。

平城宮跡では耕運機が枯草刈りをした跡地に餌を求めて10羽余りのケリが飛び交っていたが、これを機に本日の野鳥観察にケリをつけ寒風吹き渡る宮跡を横切り一路忘年会会場へと急いだ。寒い中色々世話をお願いしたリーダーの小田さんに感謝します。

### 【12月例会】 平城旧跡探鳥会 行事報告

小田久美子

日時 12月12日(月) 晴れのち曇り 風強し  
 コース 磐乃媛陵 ⇒ コナベ陵 ⇒ ウワナベ陵 ⇒ 平城旧跡 ⇒ 【忘年会】  
 参加者 小森,前木,川井,砂山,豊島,西,境,小山,林,松浦,寺田,弓場(厚・京),勝田(均・緑),  
 福谷,吉村,大石,阿部,小田(担当) 忘年会含む参加計延べ20名  
 見た鳥 カイツブリ カワアサギ オトリ マガモ カルガモ コガモ ヨシガモ 木立ガモ ヒトリガモ マガモ  
 ハシビロ 小ハシロ キンクロハジロ ミコアイサ オオバン ケリ キジバト カワセミ ヒバリ ハセキレイ  
 セグロセキレイ ヒトリモズ ツグミ カワヒヨ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハブトガラス (29種)

風が強く、この時期当たり前に見られるはずの小鳥たちに出会えず気を揉みました。山に実が多いためか何処でもこの傾向があります。全国的に寒波が南下して来たのでそろそろ山から降りて来るとお思いますのでこれからが楽しみです。カワセミ(♂)をゆっくり見られて担当としてホッとしました。

## 当麻の里、白鳳ロマンの道を訪ねて

市村勝也

磐城駅10時集合。冷たい空気のなか長尾神社のナナミノキの実がいっぱい生ったのを見ながら今年とは違って秋の赤い実が豊作だなどと話し合いながら出発。九輪のある大きな建物を当麻スポーツセンターと土地の方に教わり、壁いっぱい「花」と書かれた花市場らしいところを過ぎると今日正規の出発点の「兵家」。ここからは大和三山遠くに大峰山まで見渡せる絶景、風当たりも少なく水利も良く古くから婦化人が住んでいたというのも肯ける。

芭蕉が「綿弓や琵琶になぐさむ竹の奥」と詠んだ綿弓塚。

綿弓とは綿を打つ弓状の道具綿の繊維を叩いてほぐす。句の意味は叩く音がびわの音に似ている、挨拶吟。

竹内街道の家並みを見て、このコース唯一の山道

竹炭竹酢液の看板のある「史跡の丘」をこえて当麻寺。

ここは中将姫のゆかりの寺、毎年5月14日「当麻おねり」が行われ。当会の寺田さんも25菩薩の一人として参加されたとか、亡き母の飲んでいた中将湯という振り出し煎じ薬の匂いの記憶がよみがえりました。

道の駅と「ゆうあいステーション」で昼食。元気な人は、裏山の階段を駆け上がって展望台往復。石光寺では立派に咲いた寒牡丹を鑑賞しました。ここには百日紅の老木があり夏には見事な花を咲かせるそうです。

今日の世話役の小山さんが教えてくれたビナンカズラの実と紅葉は寒牡丹に劣らず良い色合いでした。

本日の疑問植物、外来種と思いますが

直径5cm実の表面がトゲトゲ、中は綿毛のついた種子、葉は長さ5cmくらい夾竹桃の葉に似る。民家の庭に株立ち、つる性ではない。これは一体なんでしょう。



しらべて解りました。フウセントウワタ。キーワードはワタ、フウセンでした。

1936年ころ移入南アフリカ原産ガガイモ科常緑低木。日本では1年で枯れる。生け花の材料

## 近畿自然歩道 「まほろば」の路 シリーズ

## 第八回 「当麻の里、白鳳ロマンスの路」

担当 小山 直方

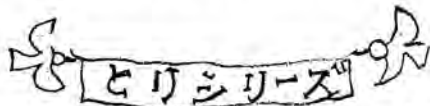
- |           |   |
|-----------|---|
| 1 日時      | 12月15日(木) 快晴  |
| 2 コース     | 近鉄磐城駅集合 9:30~竹内街道(一部分を通る)~兵家(出発点)~綿弓塚~竹内街道に出る~史跡の丘(竹内古墳群)~芭蕉の小径~当麻寺~石光寺(寒牡丹)~二上山ふるさと公園(公園館及び道の駅にて昼食)~加守神社~近鉄二上山駅(14:30着)解散。 歩程 5 Km |
| 3 参加者     | 市村(勝也・米子)・吉村・徳久・福谷・弓場(厚次・京子)・川井・小山<br>(下見) 林・大石・弓場・小山 総員 11名  |
| 4 観察された植物 | ナナミノキ、ヤマハンノキ、サネカズラ、イタビカズラ、等。  |
| 5 観察された鳥  | モズ、ヒヨドリ、アオサギ、ハシブトカラス等。  |

## 「みんなが主役の環境教育シンポジウム」に参加して

大石門三

11月19日(土)の午後、環境省、文部科学省、奈良県、市の後援の元、日立環境財団の主催で、第4回「奈良」～地域を生かした環境教育～の副題の元、当シンポジウムが行われた。会場でなんと、我が会員が4名も参加しており、皆それぞれアンテナを張り巡らせ、勉強しているのだな、と改めて感じ入った次第です。

内容として、日本芸術院会員の上村淳之氏による「花鳥画の原点」、日本環境教育学会関西支部長、谷口文章氏の「21世紀の環境教育が目指すもの」の講演と、分科会として、1 学校・地域における環境教育 2 歴史的風土・景観と環境教育 3 森林を活用した環境教育 4 自然エネルギーと環境教育の4分科会であった。また、会場にはポスターセッションも設けられ、県下18団体、トヨタ、日立などのメーカーが22社、他5NPOが展示参加していた。そのシンポの内容は、あまりにも広汎で複雑なるも、目指す目的として、環境教育・環境学習の原点は、「持続可能な社会」を築き、かつ永続させること。そのためには、環境について、個人団体を問わず、多様な主体が、教えるだけでなく、学び習得し、生きとし生ける全てのものの為に、環境保全を考え、think globally act locally に知識を智慧に結びつけ、子供のみに限らず、一人一人が行動することがもっとも大切であると。活動の基本は、自然への回帰・自然体験であり、当会の自然観察・間伐体験・諸々の社会貢献事業への参画は、原点の一部であるが、更なる議論や工夫が求められると思うが。



### イヌワシ

小田 久美子

今年の干支は「戌」・・・という繋がりからイヌワシを取り上げてみました。

植物ではイヌガシ、イヌビワなど役に立たない木材だと侮蔑的な意味を込めてイヌが付けられます。犬は人間におおいに貢献する身近な動物なのに何故そういう使われ方をするのか疑問ですし、犬好きとしても大いに不満です。鳥の仲間では神とも崇められる鷲なのに何故「イヌワシ」なのでしょうかね?ふと疑問がわいてきて、私の数少ないデータを一っくり返し【イヌワシの尾羽は近年まで矢羽に使われていたが、クマタカの尾羽を上物とするのに対してイヌとつけられた】という説を見つけました。イヌワシは翼を広げると2mにもなる日本最大の山ワシ。ウサギ、ヘビ、ヤドリ、キジ、カモシカ、サル、アナグマ、タヌキ、キツネなどを捕まえるとありますが、開拓が進みこれらの獲物がある環境も少なくなり、今天然記念物に指定の貴重種になりました。時間差をつけて2個の卵を産み、後から孵ったヒナは最初のヒナが死んだ時のみに生きられる「保険」としての命、一番目のヒナがつつき殺すことがあっても、親はそれを見ても止めようとしません、王者といえども2羽一緒に育てられない厳しい定めです。昨年伊吹山で仲良く日向ぼっこ(?)をしている番を見ました。傍で見ていた女性がいみじくもいいことを云いましたね。「ベッカムヘアーみたい!」そう、頭の後ろが金色で日本に来た時のベッカム様のようなでした。





# 地域情報



- ★ 12・4 今まで1羽しか見なかったチョウゲンボウを3羽も見ました。(竜田公園) その中の1羽が飛んでいるハトの群れの中に突っ込んで行きました。何度も、何度も襲いかかり離れた1羽を執拗に追っていました。チョウゲンボウはハトぐらいの大きさなのに、捕る事はできるのでしょうか。そのハトは難を逃れました。(勝田)
- ★ 12・8 三室山の近くに猛禽類がいました。雨の中、枝に止まってじっとしていました。双眼鏡では判然としないため、スコープを取りに帰りました。再び来た時にもまだじっとしていました。ハイタカの雌でした。以前三室山で一瞬見たのもハイタカだったと思われる。猛禽類のいる環境を護りたいと思いました。(勝田)
- ★ 12・12 信貴山の大門池にオシドリが30羽ほどいました。(勝田)
- ★ 12・13 ツグミ 1か月程渡りが遅れていました。神南のムクノキとエノキの大木にいました。それ以後、7羽しか見ていません。(勝田)
- ★天理市樺本「新池」：12月9日オジロトウネン7羽・イカルチドリ2羽・コチドリ8羽  
11日オジロトウネン10羽・イカルチドリ2羽 12日オジロトウネン9羽・イカルチドリ3羽・タシギ2羽。12月9~12日ヒバリシギ1羽。(小田友人)
- ★奈良市「広大寺池」：12月21日ツクシガモ2羽。(小田友人)

## 行事案内

名札・フィールドノート持参下さい。

### 新春講演会のご案内

## 【奈良公園・自然観察会と講演会】

日時： 1月21日(土) 自然観察会 9:30~12:00頃  
講演会 13:30~15:30

場所： 奈良公園・国際奈良学セミナーハウス

集合場所：近鉄奈良駅 行基菩薩像前 AM9:30

午後の講演会にご参加の方は、国際奈良学セミナーハウスへ

講演会： 「森林を維持するメカニズム」

講師： 龍谷大学 横田岳人先生

1967年生まれ 理工学部環境ソリューション工学科講師 生態・環境保全を専門とされ、奈良県下もフィールドの一つとして研究しておられる気鋭の研究者、奈良県下に拘らず、広い視野でのお話。

会場： 国際奈良学セミナーハウス

(近鉄奈良駅より東へ徒歩10分北側、市内循環バス・県庁東バス停前)

会費： 300円(コピー、資料など諸費用として)

担当者： 川井秀夫、阿部和生



## 第9回 近畿自然歩道・まほろばの路

### 〈二上山を越え、屯鶴峰を訪ねる〉

二上山は古代から信仰の対象として男女二神に見たてて「ふたがみやま」と呼ばれ、當麻寺からの眺めは西方浄土の穏やかな山容が観られます。コースはお正月の當麻寺から二上山を経て、山体が灰白色の凝灰岩が広がる特異な地形の屯鶴峰を巡ります。

- [日 程] : 平成18年1月16日(月) 午前9時20分  
[集 合] : 近鉄南大阪線 當麻寺駅改札口前  
[交 通] : 西大寺8:20発(急行)8:50橿原神宮前(乗換)8:55発當麻寺9:15着  
          阿部野橋発8:34(準急)8:54着古 市(乗換)9:00発當麻寺9:15着  
[コース] : 當麻寺駅—當麻寺—二上山—屯鶴峰—近鉄関屋駅  
[持ち物] : 弁当、飲み物、観察用具、雨具、降雪(後)軽アイゼン  
[担 当] : 弓場 厚次

### 〈2月の予定〉

#### 2月例会 《霧氷の三峰山》 中級コース

三峰山の魅力は、なんと言っても冬の霧氷です。標高1235mですが、実質標高差は675m。コースは、よく整備され積雪期でも安心して登れます。奈良交通バス《霧氷号》が運行され、神足バス停の奥「みつえ青少年旅行村」まで入ります。このため山頂までの距離が短縮され日帰りができるのです。(約10km)

〈日時〉 平成18年2月4日【土】 AM9:05集合

〈集合場所〉 近鉄 榛原駅バス停 AM9:05

〈行程〉ゆき:近鉄榛原駅バス停 AM9:15出発→みつえ青少年旅行村 AM10:22→登山  
          かえり:みつえ青少年旅行村 PM16:00→近鉄榛原駅バス停 PM17:07

〈持ち物〉弁当、飲み物、アイゼン、ステック(あれば)、冬山対策の服装

〈交通〉近鉄西大寺駅 AM8:25 →近鉄八木 8:45 のりかえ AM8:50→近鉄榛原 9:03

近鉄難波 AM8:05→近鉄上本町のりかえ

近鉄上本町 AM8:15 →大和八木 8:50→榛原 9:03

担当 阿部和生

弓場厚次

## 第10回 近畿自然歩道・まほろばの路

[コース名] 平野川のせせらぎと旗尾池を楽しむ路

[日 程] 2月26日(日)

[担 当] 三木 正明

\*詳細は会報第49号<2月号>でお知らせします。

## 【奈良忍辱山森林整備作業】

- 〈場 所〉 奈良忍辱山国有林 (淀川、木津川、白砂川の源流域)  
 (忍辱山円成寺駐車場)より徒歩10分 11月号地図参照
- 〈集合場所〉 国道369号線  
 忍辱山円成寺駐車場 (バス停 円成寺口と忍辱山円成寺の間)
- 〈日 時〉 1月11日(水) 10時20分 第41回  
 1月22日(日) 9時20分 第42回  
 2月12日(日) 9時20分 第43回  
 2月21日(火) 10時20分 第44回  
 3月 8日(水) 10時20分 第45回  
 3月21日(祝) 9時20分 第46回  
 (終了予定) 午後3時頃
- 【天 候】 午前6時 奈良県北西部に警報が発表されている場合は中止いたします
- 〈交 通〉 奈良交通バス 平日 [梅の郷月ヶ瀬温泉行き]  
 土・日・祝 [柳生行き]
- |    | JR奈良駅⑥番乗り場 | 近鉄奈良駅④番乗り場 | 忍辱山円成寺 |
|----|------------|------------|--------|
| 日曜 | 8:26       | 8:29       | 9:02   |
| 平日 | 9:30       | 9:33       | 10:06  |
- 臨時バス お問い合わせ 奈良交通 ☎0742(20)3100
- 〈持ち物〉 ヘルメット(防災用)、手袋、スパッツ、鋸、防護眼鏡、弁当、飲み物  
 ヘルメット、防護眼鏡、鋸等の用具は当会にて多少は用意しております
- 《未経験者には基本より指導いたしますのでお気軽に。森林を楽しみましょう。》
- 〈連絡先〉 弓場厚次  
 阿部和生  
 寺田正博

### 【作業実施報告】

11月20日(日) 快晴

〔参加者〕 樋口、中畑、下村悦子、明石、弓場。 5名  
 2班に分かれ、作業は順調に進み無事、午後3時終了。

12月4日(日) 小雨

〔参加者〕 安倉徹三、川井、中畑、明石、小森、弓場、阿部、寺田。 8名  
 小雨より、みぞれ、小雪になり、風はあまり無かったが午前中にて終了。  
 シニア自然大学の安倉理事が取材を兼ねて参加された。今後も参加したいとのことでした。

12月13日(火) 晴 気温が低い。

〔参加者〕 竹本雅昭(生)、尾崎幸子(生)、小森、中畑、大石、勝田(均)  
 明石、弓場、阿部、寺田。 10名。

奈良生協より二方が参加。

寒さが厳しかったが作業は進む。

昼食時に弓場さんに作っていただいたスープが、お腹にしみ込むほど美味しかった。ご馳走さまでした。 午後3時終了。

## 協力活動「いこま棚田クラブ」1月、2月活動日 ご案内

活動日…1・9(月)、1・15(日) 大トンド祭り、1.23(月)、1.29(日)

2・5(日)、2・13(月)、2・19(日)、2・27(月) 2月中に椎茸の植菌予定

“棚田は、あなたを待っています！”

集合場所：近鉄生駒駅下車 南口側ケーブル駅西隣セブンイレブン前

集合時間：9時 現地までタクシー他 分乗で移動

持物：弁当、作業スタイル、寒さにご注意ください！

事務局：大寺道代

ホームページ・ht

## 12月度 幹事会議事録

日時・場所：平成17年12月2日(金) 奈良県女性センター 司会 寺田、書記 古川

### 【報告事項】

- (1) 会員動向：101名 会計報告 184,375円
- (2) 11月度例会：11/2 「当尾の里、紅葉と名刹を訪ねて」 参加者21名
- (3) まほろばの路：11/15 「葛城山麓古代人の祈りが聞こえる路」 参加者13名
- (4) 森林整備作業：11/2 参加者6名 新地区での休憩所整備と間伐作業。  
11/20 参加者5名 2班体制でフル作業。
- (5) 天理市ウォーキングフェスタ：11/12 本誌に詳細掲載
- (6) いこま棚田クラブ：地元の一斉草刈、蕎麦刈取りの協働作業、刈払い機安全講習会開催  
17名参加。椎茸は最初の収穫期。

### 【討議事項】

- (1) 1/21(土) 新春講演会のテーマ：「奈良の生態環境(案)」で、講師と協議。
- (2) 各活動行事の担当幹事に対する交通費補助・・・引続き検討する。
- (3) 行事予定の確認
  - ① 例会  
平城宮跡野鳥観察と忘年会 12/12(月)、新春講演会と観察会 1/21(土)、  
三峰山の樹氷 2/4(土)、
  - ② まほろばの路  
当麻の里 12/15(木)、二上山～屯鶴峯 1/16(月)、平野川と旗尾池 2/26(日)
  - ③ 奈良忍辱線森林整備事業  
12/4(日)、12/13(火)、1/11(水)、1/22(日)
  - ④ その他  
・例会等の参加者は「名札の着用とフィールドノート携行」を徹底すること  
・会報の第1面のロゴ、キャッチフレーズのレイアウト変更(1月号より)

編集後記：年末には、久しぶり奈良盆地も白く雪に覆われました。近年は予測しがたい気候になっているようです。皆様も健康には充分気をつけてください。本年もどうか協力いただきますようお願いいたします。

編集担当：勝田 均

Tel&F

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 川井 秀夫